

チーム代表者 各位

「第1回大田区選抜研修大会」レポート

2021年7月3日（土）に森ヶ崎グラウンドにおいて「第1回大田区選抜研修大会」を開催しました。下記の通り大会をレポートします。

■地域との連携による大会開催について

当初、大会は8ブロック内の5区（江東区、港区、中央区、品川区、大田区）で行う予定であった。しかし、緊急事態宣言の発令のより7月上旬に予定されていたトーマスカップ東京都選抜大会が延期となった。そのため、5ブロック（世田谷区）と8ブロックの選抜チームを追加し、チーム数を拡大して開催した。

大会名	第1回大田区選抜研修大会
日程	2021年7月3日（土）
主催	大田区サッカー協会技術委員会
場所	森ヶ崎大グラウンド



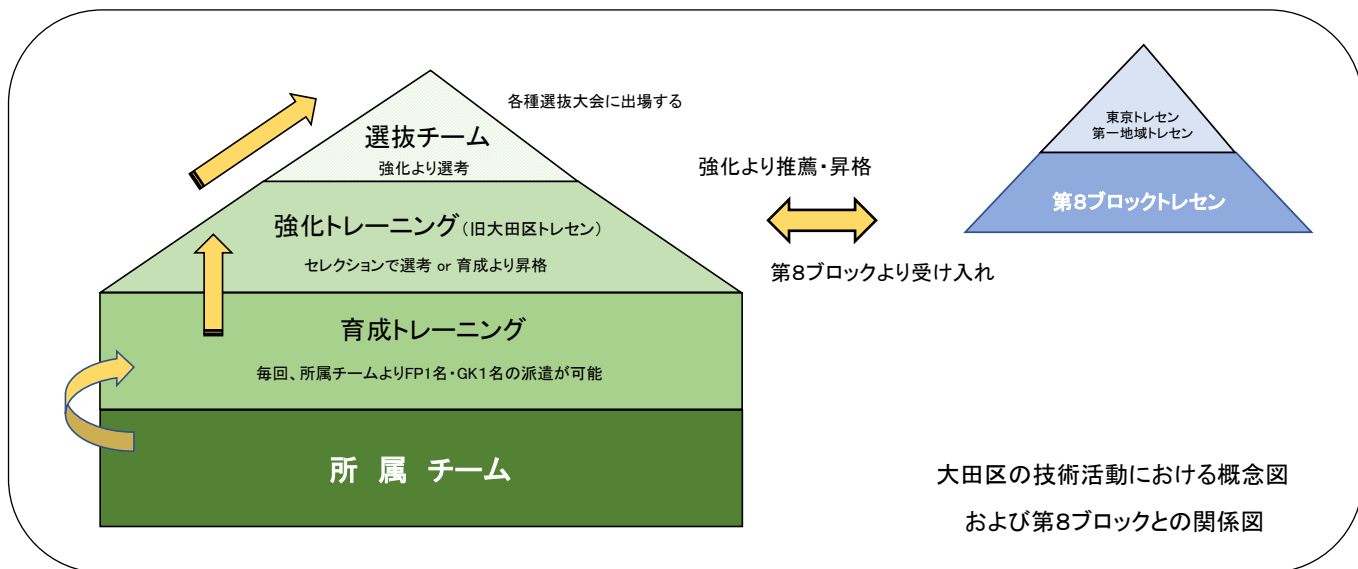
各区とは良好な関係を構築していくことが必要である。なぜなら、大田区の強化を図るためには、各区と切磋琢磨した環境が必要だからである。大会の趣旨は「子供たちの成長を第一に願うことで、将来における地域サッカー環境をより良いものへ前進、発展させていく」としている。このことから、各区と連携した関係を構築して、こうした大会を行っていくことが大田区の子どもたちのレベルアップに繋がっていくと考えられる。

■今回の選考方法について

選考は強化メンバーより行った。強化メンバーは4月に全体セレクションにより決定している。したがって、今回は全体セレクションを行っていない。しかし、セレクション後に成長した選手、また各チームからの推薦選手の受け入れのため、6月の育成トレーニングにチーム推薦

枠を設けた。そうした結果、今回は育成より大田区選抜に選出された選手がいたことは喜ばしいことである。ようするに、選抜に入るチャンスは誰にでもあるということだ。選手がチャレンジ出来る環境を常に提供していくことが必要であると考えている。

また、大田区選抜の前期活動は、8ブロックとの重複登録を行っていない。なぜなら、トレセンと選抜活動の重複により所属チームと選手へ負担を掛けないためである。選考は、8ブロック選抜を見送りとなった選手も加えて行った。これは、選考の狭間で埋もれる選手を出さないためである。結果として、大田区所属の選手は8ブロック選抜へ10名が選出された。大田区選抜は18名を選出したため、合計28名の大田区所属の選手が大会に出場することができた。上位トレセン（選抜）と連携することは、重複による所属チームと選手の負担を軽減し、より多くの選手に選抜大会という実戦の場を提供することが可能となると言える。





■大田選抜の結果と内容

大田区選抜は残念ながら、第7位と結果は振るわなかった。大会を通して、技術や戦術面だけではなく、メンタル面で消極的になっていたと感ぜられる。特に、上位選抜である8ブロックとの試合では、相手に圧倒されることで自分のプレーに迷いが見られた。失点することで消極的なプレーとなり、受け身となっていった。ゴールを奪う、1v1で絶対に負けない、必ず勝利するというような強い姿勢が見られなかったのは残念であった。

しかし、こうした経験を通して、選手は成長していくと考えている。選手は悔しい思いをしたであろう。是非次回はこうした経験で学んだ課題をしっかりと克服して、成長した姿を見せてくれることと期待したい。

最終順位	
優勝	第8ブロック選抜A
準優勝	第8ブロック選抜B
第3位	第5ブロック選抜
第4位	江東区選抜A
第5位	港区選抜
第6位	中央区選抜
第7位	大田区選抜
第8位	江東区選抜B

また、選抜チームでのプレーは自分からコミュニケーションを取ることが必要である。なぜなら、選抜チームは即席のチームであり、面識がない選手同士でプレーする。そのため、自分の良いプレーを発揮するためには、自分から仲間に話し掛ける、加わるなどの積極的なコミュニケーション能力が必要になってくると言える。

■審判委員会の協力体制について

今回も昨年度に続き、長森少年部審判委員長の協力により、7名の大田区所属の審判が担当した。審判の適格なジャッジにより大会はスムーズに行われた。大会は技術向上を目的としている。そのため、正しい身体の使い方やルールに沿ったプレーの習得が必要である。そうした意味でも、審判委員会の協力は必須である。



■人工芝グラウンドの活用について

大会は、昨年度に完成した森ヶ崎グラウンドを使用し、少年用コート2面で行った。これまで大田区には人工芝グラウンドが無かった。よって、河川敷のグラウンドでは天候不良による使用中止の場合が多く、大会をスケジュール通り行うことは極めて困難な状況であった。しかし、こうした恵まれた人工芝グラウンドが出来たことで大会をスムーズに運営することが可能となった。さらに、森ヶ崎グラウンドはピッチ状態も良好であり、選手は質の高いプレーを思う存分に発揮することが出来ていた。こうした恵まれたグラウンド環境があることは、技術向上を目指す上では大変有効である。

また、人工芝グラウンドはこうした大会を通して多くの子どもたちが使用するべきではないか。大田区のリーグ戦やカップ戦の開催、そして地域の選抜大会を行うことで、より多くの子どもたちに恵まれた人工芝グラウンドでプレーする環境を整えることが望ましいと考えている。

順位決定戦結果	
決勝戦	第8ブロック選抜A 4 - 0 第8ブロック選抜B
3・4位決定戦	第5ブロック選抜 3 - 0 江東区選抜A
5・6位決定戦	中央区選抜 2 - 5 港区選抜
7・8位決定戦	大田区選抜 1 - 1 江東区選抜B (PK) 3 - 2



最後に、新型コロナウイルスの影響がある中、大会を無事に終わられたことに心より感謝致します。これは各区連盟、ブロックトレセン、そして選手を快く派遣していただいた各チーム、コーチの皆様のご理解とご協力によるものです。また、参加した選手、保護者の全員が「大会から感染者を出さない」という強い意志により達成できたものです。皆様にこの場を借りて、厚くお礼申し上げます。

次回大会は、後期活動の一環として2021年11月末に「第2回大田区選抜大会」を計画しています。引き続き地域との連携を深め、サッカーを通して子どもたちの健全な成長、育成を目指し活動を行ってまいります。



Aブロック	中央区選抜	第8ブロックA	江東区選抜A	大田区選抜	勝点	得失点差	順位
中央区選抜		×0-2	△0-0	○2-1	4	-1	3
第8ブロックA	○2-0		×1-2	○2-1	6	2	1
江東区選抜A	△1-1	○2-1		△1-1	5	1	2
大田区選抜	×1-2	×1-2	△0-0		1	-2	4

Bブロック	江東区選抜B	港区選抜	第5ブロック	第8ブロックB	勝点	得失点差	順位
江東区選抜B		×0-2	×1-3	×0-3	0	-7	4
港区選抜	○2-0		×1-2	×1-5	3	-3	3
第5ブロック	○3-1	○2-1		×1-2	6	2	2
第8ブロックB	○3-0	○5-1	○2-1		9	8	1

報告者
大田区サッカー協会少年部 技術委員長
廣庭 秀高